

都道府県事業実施状況報告書及び評価報告書

整備事業
I 産地競争力の強化を目的とする取組用

(徳島県 令和2年度)

市町村名	事業実施主体名 (対象作物・畜種等名)①	メニユー①	類別	事業実施後の状況①										成果目標の具体的な実績①	メニユー②	類別	事業実施後の状況②										成果目標の具体的な実績②	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分 (円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考	
				成果目標の具体的な内容①	計画時(平成25年)	1年後(平成28年)	2年後(平成29年)	3年後(平成30年)	4年後(令和元年)	5年後(令和2年)	目標値(令和2年)	達成率	成果目標の具体的な内容②				計画時(平成25年)	1年後(平成28年)	2年後(平成29年)	3年後(平成30年)	4年後(令和元年)	5年後(令和2年)	目標値(令和2年)	達成率	交付金	都道府県費				市町村費	その他							
																																事業実施後の状況①	事業実施後の状況②					
東みよし町	株式会社にし阿波ビーフ	農畜産物輸出に向けた体制整備(牛肉)	232	ハラル証明牛肉輸出向け出荷量を225t/年増加	0t/年	0t/年	12t/年	16t/年	21t/年	134t/年	225t/年	59.7%	ハラル証明牛肉輸出向け出荷量が0t/年から134t/年へ増加した。	221	食肉等流通体制整備(牛肉)	部分肉仕向け割合を増加	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	部分肉仕向け割合が0.0%から100.0%へ増加した。	畜産物処理加工施設(産地食肉等)1,296.18㎡ けい留所、と殺解体・3カコンダボックスその他と畜解体機器一式、部分肉加工:白物搬送コンベアその他部分肉加工機器一式、内蔵処理:小腸切開洗浄機その他内蔵処理機器一式 病畜棟:57㎡ 処理能力27頭/日	896,400,000	415,000,000	0	0	481,400,000	平成28年3月31日	部分肉仕向け割合100%を確保する施設整備に加えて、輸出先国の内食化に対応した衛生管理の高度化も推進し、ルーツ7、イトオ7向け輸出量を大幅に増やした。 また、施設機能強化の訴求力を通じて、これまでハラル牛肉を輸出可能な認定と畜場がなかったソダボールをはじめ、複数の有望海外市場への販路開拓を進めた。事業開始時と比べ、新型コロナウイルスの世界的拡大に機に商談機会が大きく減少し、輸出向け出荷量は増加傾向であり、引き続き、輸出向け出荷量の目標達成及びと畜頭数の増加に向け、関係機関と連携し、変化する食市場に対応した販売対策や生産拡大を指導・支援していく。	部分肉仕向け割合100%で円滑に稼働しながら、複数国に向けたハラル証明牛肉の輸出施設認定を積極的に推進し、有望イスラム市場への開拓も進んでいるが、新型コロナウイルスの世界的拡大による輸出停滞等により、輸出向け出荷量は目標に達せず、また他産地との競合や国内外食需要の減少等から、と畜頭数は計画を下回っている。 しかしながら、新規市場開拓や輸出先国の内食化に対応した衛生管理の高度化の取組等により、輸出向け出荷量は増加傾向であり、引き続き、輸出向け出荷量の目標達成及びと畜頭数の増加に向け、関係機関と連携し、変化する食市場に対応した販売対策や生産拡大を指導・支援していく。	

都道府県平均達成率	79.8%	総合所見	県平均達成率は、未達成となった。 ハラル証明牛肉輸出向け出荷量が未達となったため、引き続き、関係機関と連携して、変化する食市場に対応した販売対策や生産拡大に向けてフォローアップを継続する。
-----------	-------	------	---

- (注) 1 別記様式第1号の2の1に準じて作成すること。
 2 要綱第3の4の(2)のアのただし書きの場合にあつては、事業実施後の状況の欄を追加し、記入すること。
 3 別添として、各事業実施主体が作成した事業実施状況報告書を添付すること。
 4 「事業実施主体の評価」欄と、「都道府県の評価」欄については、評価の対象となる年度のみ、それぞれの所見を記入すること。
 5 「総合所見」欄については、評価実施年度の取組について、都道府県全体の総合所見を記入すること。
 6 「都道府県平均達成率」欄は、都道府県において事業実施地区で掲げている成果目標毎の達成率の平均値とする。